

# 第2次恵那市地域計画

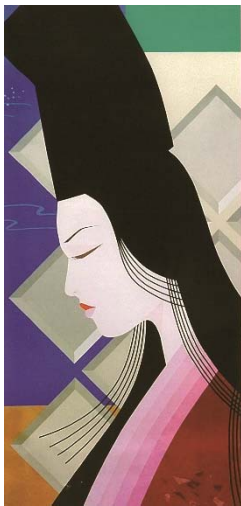
## 岩村地域自治区

### 【キャッチフレーズ】

“消滅しないぞ いわむら”  
～人が元気 人が輝く 人が財産～



### 【現状と課題】



岩村町は、日本三大山城の一つである岩村城跡と国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている古い町並みが残り観光資源に恵まれています。岩村出身の偉人の顕彰活動や、資源を活かしたまちづくり活動も活発に行われ、江戸時代から続いている「御輿渡御行列」など文化を伝承し続けています。

飯羽間地区の国道257号沿いには、大規模商業店舗が出店し生活に便利なことから分譲地の開発がすすみ人口の減少が比較的緩やかです。一方、本通りの商店は往時より減少し高齢者には不便になってきています。岩村本通りは変わらずにそこで暮らす人がいて、作られたテーマパークとは違うところが魅力の一つではありますが、現在のライフスタイルには合わないことから空き家が目立ちはじめ、調査や対策を始めています。

## 目指すべき地域の姿

「ちょうど良い町」「きらりと光る町」になるために、

- ①伝建地区と岩村城跡を中心に観光地岩村としてさらなる磨き上げをすすめる
- ②今いる人たちが住み続けたいと思える魅力づくり
- ③地域の宝ものである子どもをはじめすべての人が笑顔になれる施策の充実

という3点に絞りこみ「訪れたい・住み続けたい・笑顔あふれるまち」を目指します。

訪れたいと思う観光地になるために、中長期的な観光指針として作成した「いわむら<sup>※1</sup>グランドデザイン」を基にハード・ソフト両面での充実を図ります。

岩村町の観光のシンボルでもある岩村城跡を整備することで、町民の意識向上に努め観光地プラス人で誘客します。景観面での配慮も必要となるが、案内看板の充実をし、観光客により深く岩村の魅力を知っていただきリピーターの増<sup>※2</sup>を目指します。SNS等の強化を図り、魅力発信などを行います。





住み続けるためには、若い世代にとっては勤め先の確保が重要です。例え、勤め先が町内に無くとも通勤可能圏内であるためには交通網の整備を考えると同時に、空き家を利用し重伝建地区に見合った起業を促進し、郊外では帰農者への援助、農産品等のブランド化による農業収入の向上、跡継ぎができる商店の

育成援助などを進めます。シニア世代にとっては、最後まで岩村で住み続けるために、地域で支え、助け合える仕組みを構築します。

笑顔があふれるまちにするために、安心して子どもが遊べる場、預けられる場の確保と関わる人の育成を図ります。また、子どもから大人まですべての住民が交流できる場を創出し、地域の絆を強めます。子どもから大人まで地域住民が地域を誇りに思うことができるよう、歴史や岩村出身の偉人、郷土に伝わる行事などを学ぶ機会を学校と協力して設け、郷土を愛する心を育てます。

## 計画の柱(基本目標)

### 1 訪れたいまち

観光で訪れ、住民とふれあい、岩村を好きになってもらい、何度も訪れてもらう。関係人口増加につなげるまちづくり。

### 2 住み続けたいまち

住みやすい町、ちょうど良い町。地域で助け合い、誇りを持って愛せる町。老後も安心、災害にも強く被災しても助け合い、地域の目で犯罪を未然に防げるまちづくり。

### 3 笑顔あふれるまち

子どもを安心して産み育てられる町。子育て世代が住みたくなる、Uターン、Iターン、Jターンして子育てしたくなるまちづくり。子どもから大人まですべての人が交流できる機会を増やし、笑顔があふれるまちづくり。

## 基本施策

# 訪

れたいまち



### (1) 岩村城跡の保存と景観対策

岩村城跡を修復し岩村城築城時の面影を引き出すとともに、城下から本丸の石垣が見えるようにするため、樹木の伐採と樹種を針葉樹から広葉樹に植え替えます。



### (2) 外国人の誘客対策

岩村在住の外国人の方に協力してもらい、情報発信やアドバイスをしてもらいます。外国人向けツールの作成などの受入体制の整備、インターネットによる世界への情報発信を行います。

### (3) 新しい観光資源の活用・リピーター対策



埋もれている観光資源を発掘し発信していきます。著名人や物とのつながりを活用して誘客をすすめます。また、岩村だけでなく近隣の地域と連携し広域観光の開発に力をいれます。四季に応じた、観光スポット・グルメやイベントや何度も来たくなるような仕組みを作ります。水晶山・三森山を登山（ハイキング）コースとし健康的な観光地をPRして集客を図ります。

### (4) 特産品の企画・開発

地元ブランドの特産品を地域の方々と企画・開発します。

### (5) 空き家対策

<sup>※3</sup> ゲストハウスなどの宿泊施設や店舗（駄菓子屋・骨董屋・カフェなど）、体験施設などへの転用や住居としての再生、<sup>※4</sup> サブリース制度を導入します。恵那くらし<sup>※5</sup> ビジネスサポートセンターと連携し、情報発信を進めます。



### (6) 人材確保（育成）



小中高生にまちづくりやイベントに参加してもらい、楽しさを知っていただき、将来的な人材の確保に努めます。



# 住

み続けたいまち



## (1) 空き家を出さない活用支援



高齢者等宅の防災支援や高齢者等が自宅に住み続けるための住宅改修等の相談サポートをするとともに、空き家、空き店舗の貸し主、借り主へのサポートや窓口情報を提供し、空き家を出さない活用支援を行います。

## (2) 自治会の活性化

自治会というものへの理解をしてもらうための活動を行い、自治会未加入者への加入促進に繋がります。また、地域全体（自治会未加入者も含め）で助け合いや防災活動を行うことによって、最後まで安心して岩村で住み続けられるまちを目指します。



## (3) 交通手段の確保

平成 30 年 10 月から始まった<sup>※6</sup>デマンドバスの使用状況、他地域の交通手段の状況などを研究し、地域で使いやすい交通体制を検討します。

## (4) 住みやすい環境の確保

地域の学校、消防、警察、医療機関などと連携し、防災のまちづくりを進めます。



# 笑

顔あふれるまち



## (1) 安心して遊べる・預けられる場所の確保



自然の中で安心して遊べる場所づくり。車の来ない路地で遊べるところなどを利用し、外で遊ぶ楽しさを伝えます。市の関係部署と連携を図り子育て中の母親が集まれる場所づくりを推進します。

※6

## (2) 子ども同士の交流（上下と横のつながりを創る）

教える人と場所の確保をして、遊び塾で一年中季節に合わせた遊び・昔の遊びを行います。各地域との交流会、中高生が小学生に遊びや勉強を教えてくれる場所づくりを推進します。



## (3) 郷土を愛する心を育てる（地元を誇りを持つ）

都市に住んでいる家族が盆・正月・お祭りなど頻りに帰省したいまちにするため、郷土の情報や取り組みを情報発信します。

自家野菜のお裾分けなど隣近所同士のつきあいを大切にします。郷土の歴史や偉人などを子どもに教えます。勉強会や地域行事などへの参加をすすめます。



## (4) 若者が結婚し地元に残るために

岩村が子育てしやすいまちである魅力や恵那市の移住・定住制度等を情報発信し、若者の<sup>※7</sup>Uターン、Iターン、Jターンを促進します。

## (5) 子どもの笑顔でみんなも笑顔

地域自治区と小・中学校及び恵那特別支援学校の学校運営協議会や市内の高校と連携を図り、地域住民と小中学校、特別支援学校、市内高校の児童・生徒がさまざまな行事等に参画し、みんなの笑顔があふれるまちづくりを推進します。



## (6) 心と体の健幸

地域住民がいつも笑顔で暮らせるために、郷土の歴史文化や先人の教えを学ぶ心の健康づくりと、運動や食生活改善を奨励する体の健康づくりを推進し、まちづくりに生かします。

### 注釈

※1 グランドデザイン：全体にわたる計画・構想。

※2 SNS：ソーシャルネットワーキングサービスの略（フェイスブック・インスタグラム・ツイッターなどパソコンを使って情報発信をする。）

※3 ゲストハウス：母屋とは別に準備された客人向けの住宅

※4 サブリース：管理会社がオーナーから賃貸物件を一括して借り上げ、第三者に賃貸する

※5 ビジネスサポートセンター：移住支援と経営・起業相談を行う施設

※6 デマンドバス：停留所やエリア内の希望の場所に乗り物呼び寄せの交通システム

※7 Uターン：地方から都市へ移住したあと、再び地方へ移住すること。

Jターン：地方から大規模な都市へ移住したあと、地方近くの中規模な都市へ移住すること。

Iターン：地方から都市へ、または都市から地方へ移住すること。

## 【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町	柱1：訪れたいまち （3）新しい観光資源の活用・リピーター対策
☆山岡町	柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （2）山岡の特色を活かして交流人口の増加推進
☆明智町	柱1：賑わいと活気のあるまち （2）団体やイベントの相互連携による賑わいと活気
☆串原	柱1：今ある自然を資源として活かそう （1）既存施設の充実と見直し
☆上矢作町	柱2：豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作 （1）観光施設の充実による賑わいのあるまち
取り組み内容	
<p>◎広域観光による地域活性化（観光）</p> <p>共通パンフレット・観光周遊コースの作成、イベント共催など広域で行うことにより魅力アップにつなげ観光客・交流人口の増加を目指します。</p>	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町	柱1：訪れたいまち （6）人材確保（育成）
☆山岡町	柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （2）山岡の特色を活かして交流人口の増加・推進
☆明智町	柱4：郷土の魅力と誇りを次世代へ （1）郷土に学ぶ
☆串原	柱2：響け！伝統文化と学びで繋がる串原 （4）人材育成と活用
☆上矢作町	柱4：知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 （1）人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動
取り組み内容	
<p>◎文化や人材の交流による人材育成確保（文化）</p> <p>恵南地域間における文化交流、人材交流等を深め、互いの地域の魅力を高め合うと同時に、伝統文化の保存伝承と後継者育成に努めます。</p>	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町	柱1：訪れたいまち （6）人材確保（育成） 柱4：多くの町民が参画する活力あるまち （1）新たな仕組みづくり・雰囲気づくり 柱3：若者を中心とした地域力の向上 （1）若者が活躍できるまち 柱3：世代交代と耐える力 （4）次世代リーダーの育成 柱4：知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 （1）人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動
取り組み内容	
◎恵南地域の若者達の能力活用と支援 若い力を活用した地域づくりを、恵南地域の若者達による話し合う機会を経て進め、事業の実践に繋がられるよう支援していきます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町	柱2：住み続けたいまち （3）交通手段の確保 柱2：安全で安心して暮らせるまち （3）地域が家族になる「あんじゃない」のまち 柱2：安心していつまでも住み続けられるまち （4）地域の安全・安心な交通の確保 柱3：世代交代と耐える力 （3）住民同士の支え合い 柱1：いつでも、いつまでも誰もが安心ほっとするまち （3）安心して快適なまちづくり
取り組み内容	
◎高齢化社会に対応した、交通弱者対策などの地域福祉力の向上（福祉） 公共交通機関の利用が困難な方の、通院や買物のための移動手段確保などによる日常生活支援や、近くで買い物できる移動販売車などの運営を通して、地域福祉力の向上を図ります。	